

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 30. 3. 30 第 196 回国会第 3 号

3 月 30 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・林文部科学大臣、鈴木国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）、木原財務副大臣、宮川文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

日吉雄太君（立憲）

- ・財務省において学校法人森友学園に係る国有地の貸付契約及び売買契約に関する決裁文書の改ざんが行われていたことについて、林大臣の見解を伺いたい。
- ・名古屋市中学校における講演授業に対する文部科学省による事実確認の書面について、林大臣の「やや誤解を招きかねない面もあった」との認識は不適切であり、撤回すべきだと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・報道各社の世論調査における安倍内閣支持率の低下について、学校法人加計学園における獣医学部の設置認可等に見られる文部科学行政の不透明さが一因にあると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

山本和嘉子君（立憲）

- ・大学入試問題における出題ミスの再発防止に向けた文部科学省の取組について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・教員の働き方改革については、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の見直しをも含めて進めるとしているが、具体的なスケジュールや内容について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・教員の精神疾患による病気休職者が毎年 5,000 人程度で推移していることを踏まえ、教員のメンタルヘルスケアのための取組を更に進める必要があると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

櫻井周君（立憲）

- ・林大臣は所信において、3 歳から 5 歳までの全ての子供たちの幼児教育の無償化を進めるとしているが、教育・保育の質の低下を招くことのないように定員を適切に管理し、幼稚園入園希望者が全て入園できるようにする必要があると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・色覚特性を持つ児童・生徒に配慮した色覚チョークが学校現場にあまり普及しない理由の一つとして、文部

科学省が作成した「色覚に関する指導の資料」において、使用すべきチョークの色が示されていることが挙げられることから、同資料を見直す必要があると考えられるが、林大臣の見解を伺いたい。

- ・文部科学省が、学校法人森友学園に対する大阪府による小学校設置認可について自治事務であるとして事実確認を抑制的に行う一方で、名古屋市中学校における講演授業に対しては詳細に事実確認を行うことは、文部科学省に対する不信感を抱かせる要因となっていると考えられるが、林大臣の見解を伺いたい。

城井崇君（希望）

- ・名古屋市中学校における講演授業に対する文部科学省の事実確認に政治家の影響がないとは言えず、学校現場を萎縮させる懸念があることから、今後の学校現場に対する基本姿勢について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・大学における研究費については、競争的資金のみを重点的に配分せず、大学関係者が必要としている基盤的経費を拡充させることが重要であると考え、林大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 32 年度より導入される大学入学共通テストについては、平成 35 年度まで英語において民間の資格・検定試験とマークシート式の共通テストが併存することから、受験生の学習上の負担や経済的負担の増大等の問題が生じる懸念があるが、林大臣の見解を伺いたい。

長島昭久君（希望）

- ・名古屋市中学校における講演授業に対する文部科学省の調査に係る問題について、林大臣は会見にて、これまでも授業内容の調査は行われていると発言しているが、具体的な調査事例について、林大臣に伺いたい。
- ・本件において、文部科学省による調査の方法が「やや誤解を招きかねない」との認識があるならば、名古屋市及び教育委員会に対しお詫びをすべきと考えるが、文部科学省及び林大臣の見解を伺いたい。

- ・本件では、大臣への報告は事後であり、慎重な対応を要する案件は事前に政務三役に報告するべきであると考えているが、仮に、事前に報告があった場合、どのように対応していたのか、林大臣に伺いたい。

源馬謙太郎君（希望）

- ・帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業の一環である「多言語翻訳システム等 ICT を活用した支援」の事業内容及び同事業を全国に広めるための方策について、文部科学省に伺いたい。
- ・「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム」に関連して、現場の教員の負担増を踏まえ、教員の本来業務以外を担うスタッフを増やす組織について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・高校生等に対する修学支援について、高等学校等就学支援金制度における単位制高校に対する支給上限超過分への支援を拡大すべきであり、都道府県が実施する奨学金事業についても機関保証制度を整備すべきであると思うが、文部科学省の見解を伺いたい。

平野博文君（無会）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る決裁文書の改ざんに関する財務省の内部調査においても、昨年の文部科学省再就職等問題調査班と同様に、外部有識者を含めた体制で調査を行うべきと考えるが、財務省の見解を伺いたい。
- ・名古屋市中学校における講演授業に対する文部科学省の事実確認は、教育への不当な介入であると考えているが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・上記事実確認では決裁文書の作成を行っていないが、法令に基づく調査においては文書による決裁を経る必要があると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・本年3月23日の参議院文教科学委員会において、林大臣は、法律の趣旨に沿って適正に行われる教育行政機関等の行為は不当な支配とならないといった趣旨の発言をしているが、法律に基づく教育行政機関の行為はすべて無条件で教育基本法第16条の「不当な支配」には当たらないと考えているのか伺いたい。
- ・名古屋市中学校における講演授業に関して、法令に基づく事実確認が必要と判断した違法性や児童生徒に対する不利益の事実があったのか、文部科学省に伺いたい。
- ・国立大学等において非常勤職員の雇い止めが起きていると認識しているが、無期転換ルールを徹底するため

の対応策について、文部科学省に伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・2020年東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会（2020年東京大会）を通じての復興支援の観点から、ボランティアに被災者枠を設けるなど同大会に被災者が参加できる機会を作るべきだと考えるが、鈴木大臣の見解を伺いたい。
- ・アスリートの引退後のキャリア支援策として、部活動指導員への登用を学校に対して促していくべきだと考えるが、スポーツ庁の見解を伺いたい。
- ・2020年東京大会を契機として、我が国の受動喫煙防止対策の更なる推進が必要であると考えているが、鈴木大臣の見解を伺いたい。

吉川元君（社民）

- ・名古屋市中学校における講演授業に対する文部科学省の事実確認は、具体的な法令等違反の可能性を前提に行われたものなのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・平成30年度予算における教職員定数改善の内容は、新学習指導要領の円滑な実施等に資するものとして十分なものとなっているか、林大臣の見解を伺いたい。
- ・小学校における英語専科指導教員の英語力に関する要件について、2年以上の留学経験者など免許状を有しない場合も含まれているが、このような者が十分な英語指導を行うことが可能なのか、宮川政務官の見解を伺いたい。